

# 「脱ムダ改革」「情報公開」で政治を変える

小金井市議会議員 会派「リベラル保守の会」所属

## 渡辺大三 NEWS

2016/12/19号



編集発行 リベラル保守の会(会派ニュース)【会派】本町 6-6-3 小金井市議会内【自宅】中町 3-25-10-201  
ご意見ご要望は… watanabedaizou@gmail.com FAX 042(381)5074 まで

◆日々の報告や雑感、市政速報は facebook で発信しています。 <https://www.facebook.com/daizou.watanabe.5>

### 市長候補・市議候補の選挙費用への税金投入（公費助成）

## 西岡市長提出の「増額」条例案に異議あり

通勤・通学・お買い物途中のお忙しい中、「渡辺大三 NEWS」をお受け取りいただき感謝申し上げます。ぜひ御一読賜りますようお願い申し上げます。

現在、小金井市議会は、平成 28 年第 4 回定例会（12 月定例会）を開催中です。会期は 12 月 22 日までの予定です。

この定例議会に、西岡市長は、小金井市長選や小金井市議選の立候補者の選挙運動費用への補助金（公費助成）を増額する条例改正案を提出しました。

市長候補については、選挙カー借上げ費用、選挙ポスター印刷費用、選挙ビラ印刷費用の限度額を引き上げ、市議候補については、選挙カー借上げ費用、選挙ポスター印刷費用の限度額を引き上げるとの内容です。物価の上昇をその理由にしています。

結論から申し上げますと、私はこの条例改正に反対です。反対する理由は以下の通りです。

①前回の市議選（平成 25 年）では、定数 24 に対して 34 人が立候補しましたが、選挙カーの借上げ費を限度額いっぱいまで請求したのはわずか 9 人で、16 人はそれよりも安い金額で請求していました。また、私のように税金のムダ遣いを避けるために自家用軽自動車を使って請求すらしていない候補者も 9 人いました。つまり現在の額で十分すぎるということです。

②前回の市議選（平成 25 年）では、選挙ポスター印刷費用を限度額いっぱいまで請求したのはわずか 4 人で、30 人はそれよりも安い金額で請求していました。つまり現在の額で十分すぎるということです。※4 人の内 3 人は、選挙カー借上げ費用も限度額いっぱいまで請求しています。

③物価が上昇していると言いますが、市民へのさまざまな給付は物価上昇に応じて引き上げられておらず、実態上は据え置きどころか可処分所得は減収になっています。市民生活が苦しい中、市長選や市議選に立候補する人が「お手盛り」で自分の選挙運動への税金投入を引き上げるのでは、市民の理解は得られません。

④いかなる所得の人でも公職の選挙に立候補できるようにするという意味で、選挙費用の公費助成は大事な制度です。しかし、公費助成制度の趣旨は「必要経費」を補助することが大前提であり、「必要以上」に税金を投入する事態を招きかねない条例改正は害悪でしかありません。兵庫県議会や富山市議会のように、政

務活動費の不正受給事件が頻発しています。限度額が引き上げられれば、満額を手中にしたい立候補者が、不正な請求をして、税金をだまし取る事件を引き起こす可能性もあります。

⑤小金井市は「危機的財源不足」であると行政自らが言っています。今後、保育所待機児童解消、特別養護老人ホームの確保、市庁舎建設、福祉会館建設、図書館本館や公民館本館の建て替え、新可燃ごみ処理施設建設の負担金など、多額の財源を要する事業が数多くあります。公職の選挙に立候補する人は、市財政に配慮して、選挙費用もなるべくお金をかけない手法を選択し、税金投入を削減する工夫をすべきです。

なお、同条例改正案は 12 月 14 日の総務企画委員会で採決に付され、賛成 6 反対 1 で可決されました。賛成＝自民党（中根・湯沢）公明党（宮下）共産党（水上）民進党（鈴木）緑・市民自治こがねい（片山）。反対＝リベラル保守の会（渡辺大三）。

この条例改正案は 12 月 22 日の本会議で採決に付され、可否を決めることになっています。

### 市長、市庁舎等建設で「新方針」提示へ

12 月 14 日の市議会総務企画委員会で、西岡市長は、市庁舎や福祉会館の建設について「12 月定例会中に、一定の新たな方針を示したい」との意向を表明しました。

この問題を巡っては、去る 10 月 4 日に、西岡市長から、選挙公約に掲げた「蛇の目ミシン工場跡地に市庁舎、福祉会館、図書館本館、集会施設を複合建築する」との政策を白紙に帰し「ゼロベースで見直す」との表明があり、市民や市議会からは、一刻も早く新しい方針を示すよう求める声が相次いでいました。

「新たな方針」の内容がどこまで具体性があるのかは現時点では不明です。蛇の目ミシン工場跡地に市庁舎と福祉会館を建てるとの総論は、私も西岡市長と同じですので、できる限りの協力は惜しまないつもりです。極力「早く、安く、賢く」建設できる方針を示していただきたいものです。

「新たな方針」が市長から提示されましたら、来週号で詳しくお知らせします。また、facebook ではリアルタイムで内容を詳細に報告いたします。お時間がありましたら、どうぞご覧ください。

◆渡辺大三 profile ©1966 年、岩手県水沢生まれ。秋田県横手市・宮城県仙台市・山形県山形市を経て、1975 年、父の転勤で小金井市貫井北町に転入。小金井市立本町小学校・小金井市立小金井第一中学校、東京都立小金井北高等学校、中央大学法学部卒業。株式会社河北新報社（仙台本社）に新聞記者として就職、編集局配属。同社退職後、小金井に戻り、衆議院議員菅直人秘書。©1993 年、男性最年少 26 歳で市議選に初当選。以降、6 期連続当選（直近 3 回は無所属で立候補）。この間、議案提案権を活用し、情報公開条例、市民参加条例、住民投票制度をレヴェルアップ。また、「市役所の高額人件費問題」「情報公開の面で問題の多い公共事業問題」などを巡る複数の直接請求署名運動を市民の皆さんと一緒に進める。2016 年の都知事選では小池百合子さんを応援。都知事選後は、小池知事が塾長を務める「希望の塾」の事務局メンバーに東京多摩の議員ではただ一人選任される。©現在、小池百合子政経塾「希望の塾」事務局メンバー、東京の地域政党「自由を守る会」（代表＝上田令子都議会議員）事務局長、小金井の地域政党「リベラル保守の会」（共同代表＝百瀬和浩小金井市議・高木章成）事務局長、行政監視団体「情報公開こがねい」共同代表。＊国政政党には所属していません。地域では、中央大学学員会（同窓会）小金井支部幹事、小金井北高等学校同窓会幹事長、小金井市商工会参与、貫井北町商工振興会事務局長、中町新愛会（自治会）相談役なども務める。©趣味＝ダイエット（3 年 5 か月継続中）と軽めの筋トレ。フルーツ（初心者／たまたま「また君に恋してる」という曲を練習中）。カラオケ（最近の歌は知りません）。愛犬ロクスケ（シーズー♂）との小金井散歩。山奥の秘湯を訪れること。ロングドライブ（貧乏旅行にて車泊が多いです）。料理。剣道二段。

